

令和4年度  
新潟大学工学部 総合型選抜 入学試験問題

小論文

(知能情報システムプログラム)

注意事項

- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題は、全部で2ページである。(落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合は申し出ること。  
問題冊子の中に下書き用紙が1枚入っている。また、別に解答用紙が1枚ある。
- 3 志望する主専攻プログラム名を解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 4 受験番号を解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 5 解答時間は、60分である。
- 6 問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。

次の文章は、アンデシュ・ハンセン（著）、久山葉子（訳）『スマホ脳』（新潮社）からの抜粋である。文章を読んで後の設問に答えなさい。

著作権処理の関係上、公開しておりません。

著作権処理の関係上、公開しておりません。

(出典: アンデシュ・ハンセン (著), 久山葉子 (訳) 『スマホ脳』(新潮社)より抜粋)

問題: 幼児のタブレット学習に関する上の文章を踏まえ, 学齢期以上の子供(小学生, 中学生, および高校生) に対するタブレット端末を用いた効果的な学習方法とその利点, および注意を必要とするタブレット学習の方法とその危険性などについて, 自分の考えを 600 字以内で述べよ。

令和4年度総合型選抜 小論文

工学部工学科知能情報システムプログラム

**【出題意図】**

知能情報システムに関する専門知識および多様な知識の習得を目指す意欲と、社会の諸問題に対して、興味・関心を持ち、専門知識を駆使してそれらの問題の解決策を考える意欲を持っていることが大事である。

本問では、タブレット学習を例として、技術がもたらす功罪について考え、論じさせる。議論を展開するには、出題文を正しく理解するために、タブレット端末を含めた情報機器の利活用に関する知識、および情報機器のもたらす効果に対する発想力・想像力が必要となる。情報ネットワークやマルチメディアに関する知識だけでなく、高い倫理観と広い視野を持つプロフェッショナルを目指す姿勢を問う問題である。